

連盟ニュース

No.286

# 神奈川 11

2008. 11. 11



「南アルプス策ヶ岳より望む富士と御来光」 撮影：トリコシアキオ(<http://tory.com/>)

安全を高め充実した登山と滑走をしよう 雪崩事故とビーコン	2008. 10. 22	副会長	中山建生	2
雪崩ビーコンの体験学習・追加講習のお知らせ	2008. 11. 1	講師	中山建生	3
第2回クライミングコンペのお知らせ	11/29-30			3
第16回関東ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」案内				4
共済の今日と未来を考える神奈川懇話会学習会				5
ハイキング委員会活動報告				6
救助隊訓練の報告		救助隊	海輪利昭	7
関東ブロック自然保護交流集会に参加して		県連自然保護委員長	高橋勇三	7
各会主催クリーンハイク				8
小田原ナーゲル山の会／藤沢山の会／川崎ハイキングクラブ				10
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定				12
事務局長会議報告				11
登山時報紹介				11
県連のスケジュール				14



神奈川 県勤労者山岳連盟  
 〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階  
 発行責任者 後藤 真一 編集責任者 村松 勝  
 TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

## 安全を高め充実した登山と滑走をしよう 雪崩事故とビーコン

2008.10.22 副会長 中山 建生

雪崩事故に遭ったら、仲間を早期に発見、掘出し、短距離搬送、そしてヘリでの救出、病院への搬送となります。この事故直後の初期初動捜索には現場に残された行動可能なメンバーがビーコンで埋没した仲間を捜し出すことがなによりも重要となります。

今年も北海道上ホロで11人の登山者の雪崩事故により4名が亡くなりました。八幡平でも死亡事故が起きました。いずれの事故も雪崩に関して無知であったこと。本を読み多少は知っているというレベルでは危険を予知し、事故を起さないための回避行動をとることはできません。また事故に備えてビーコンの練習、掘出し、収容の訓練をしていなければ時間切れとなり生存救出は望めません。彼らはいずれの学習も訓練も十分にしていなかったのです。

自分は大丈夫だと思ひ込みはとても危険です。事故後に語られるのはまさか自分に事故が起きるとは思わなかったというものです。ここ数年繰り返される雪崩事故は雪崩に無知、無関心であることから、なにが危険なのか認識が持てず、わずかな経験だけを頼りにいくつもミスを重ねています。下調べをしない。気象の推移や降雪の変化を調べない。過去の雪崩事故の教訓を学ばないから、ビーコンなんて必要ない。雪崩のことは不可抗力の自然災害だから非科学的な妄想を捨て切れず、きちっと学習をしないのです。

今年は雪崩ビーコンを使えるようにと2回の机上講習、1回の野外実習をしました。一台のビーコン、つまり一人の埋没者の捜索は5分以内で発見するところまで力をつけましたが、複数のビーコンを時間内に見付けるのには苦勞していました。登山者とボーダーのグループに別れて実習をしましたが、ビーコンに慣れたボーダーたちは複数捜索でも組織捜索でも目標をクリアーしていききました。すでに4年以上教えてきたメンバーでも毎年練習をさせています。技術は訓練の積み重ねで工夫や要領を覚えていきます。

ヒントを与えればできるというレベルでは事故が起きたときの不安や狼狽から普段の半分か三分の一位しか力がだせません。このことをよく心しておき

ましよう。ビーコンを持っていても使えなかったり、戸惑ったりが殆どです。

冬山に行く皆さん、スキーで滑走したいという皆さんは雪崩の危険についてきちっとした認識を持ちましよう。スキー場の近くだから雪崩はないとか、山小屋の近くだから雪崩はないとの思い込みからいくつも事故が起きています。穂高槍平の雪崩事故は気象の推移、寒気の流入と風の方向から中崎尾根側に吹き溜まりができることが十分に推定できました。また過去に槍の側（上流）からの雪崩により小屋が壊されて、現在の位置に小屋が作られたのです。これも過去の雪崩事故例を調べれば分かることでした。

ここ数年ひどい荒天が続いたり、寒気も強くありませんが、冬山に登りたいなら最低でも一週間の気象の変化を調べてみましょう。そして冬山気象が分かる人に荒天の周期を教えてください。一切合財を頼ってはいけません。自分で関心を持ちできることをしてみるのです。

さて雪崩ビーコンのことから雪崩一般のことに移りましたが、経験者に練習の内容を、到達度をきちっと評価してもらいましょう。一回、二回うまくいったからできるということにはなりません。たいていは適当に誤魔化しています。なにを見るのか、なにを評価するのか分かっていなければものごとは適当になり、それをできるものと誤認します。

各会で慣れた人がいないなら県連盟には雪崩の講師が何人かいますから講師の派遣を求めてください。また全国講習会への参加、関東講習会への参加を勧めます。スノーシューの訓練や雪上訓練もきちっと計画に入れて登山の、滑走の安全実施を実現しましょう。



## 第2回 神奈川県勤労者山岳連盟クライミングコンペのお知らせ

40周年記念行事として昨年開催したクライミングコンペに引き続き今年もクライミングコンペを開催します。各会の皆様においては、スタッフ、参加者募集などご協力をお願いします。

日時 2008年11月29日～30日

場所 神奈川県山岳スポーツセンター (秦野市大倉)

<クラス>

■オープンクラス (リード形式 昨年は5.11a、5.12a)

・3人1チーム制

■ビギナークラス (トップロープ形式 昨年は5.10a、5.10c)

・個人制

<ルートセッター>

大岩あき子氏 (鶴見/ビッグロック)

<参加費>

コンペ参加費 2,000円 (予定)

ほか山岳スポーツセンター宿泊費、食事費 (買出し、持ち寄り)

※コンペに出場しなくても応援、宿泊、食事交流会のみもOK

<オプション講習会>

開始時間 11/30 (日) 9:30集合 10:00～15:00

講習費 ¥2,000

保険 労山以外の方は労山の行事保険 (セブンエー) に掛ければよいですね。

保険費用は日本勤労者山岳連盟のHPに掲載されていたと思います。

講師 神奈川県勤労者山岳連盟指導員及びコンペオープンクラス参加者

- 内容
1. クライミング装備の使用方法和点検
  2. クライミングに必要なロープワーク
  3. トップロープによるクライミングの仕方
  4. ビレイの仕方
  5. リードの仕方
  6. ランニングの回収方法 など

また、講習会に参加しない方も、11/30片方の外壁は自由に登れます。

### 雪崩ビーコンの体験学習・追加講習のお知らせ

2008. 11. 1 講師 中山建生

県連盟会員には9月に2回の机上講習と野外実習を1回行ないました。単数検索は半日の体験で目標に達しましたが複数の検索は戸惑いがあり目標に届かなかった人達もいました。県の理事会で実習の目標を示す資料を配りましたので各会でビーコンのわかる人、馴れている人は会員の指導をお願いするものです。講習に参加した人達は率先して会での教育に取り乱んでください。私の方から学習体験の機会を逃した人達に以下のお知らせをいたします。

12月14日 (日) 午後2時より5時まで IBS石井スポーツ主催のビーコン講習会があります。ここで私が講師を勤めます。参加費は2000円となります。

申し込みはIBS石井の鶴見本店です (045-502-3611)。テキストはお店に置いておきますので事前に目を通し、ビーコンを持っている人は持参の上参加してください。最新のビーコンについてお話しします。

IBS石井スポーツ(株)<http://www.ibs-ishii-sports.co.jp/>で内容が見られます。

最終ビーコンの訓練は12月20日 (土) 谷川岳天神平を予定しています。詳細が決まりましたらお知らせします。これは雪の中での練習です。冬山の登りたい人、滑走したい人は参加をしてください。各会での机上学習の機会があり、日程が合えば伺います。可能であれば複数会で調整してください。私のほかにもビーコンを教えることのできる講師がいますので連盟の遭難対策部 (田村氏) に相談してください。

## 第16回関東ブロック

## 「雪崩事故を防ぐための講習会」ご案内

主催 日本勤労者山岳連盟 関東ブロック協議会

登山や山スキー、スノーボード等 バックカントリーでの遊びはスリリングで楽しい。

一方、毎年、雪崩による事故・遭難・死亡などがニュースでも伝えられています。

講習会では、雪崩を知ることによって事故のリスクを減らす、実践的学習を進めています、下記実施要領を確認の上、実技学習・机上講習を申し込んでください。

机上講習だけの参加も可、誰でも参加できますので、仲間を誘い合わせて参加願います。

会場はどこでも参加できますので、(机上講習日程・各会場・県連担当者:別紙《次ページ》参照)申し込んでください。

入笠山での実技講習参加者は、机上講習の受講が必修条件ですので必ず受講の事。

## 実施要項

日時 2009年1月31日(土)12時 ~ 2月1日(日)14時

場所 入笠山及び「マナスル山荘」周辺

宿泊 マナスル山荘 Tel. 0266-62-2083

富士見パノラマスキ - 場山頂駅 徒歩15分

集合 1月31日午前11時00分

「富士見パノラマスキー場 ロープウェイ乗り場前」

\* 前泊の方はマナスル山荘

定員 基本 クラス(初めての参加)20名(登山・山スキー・ボード)

基本 クラス(2回目~経験者)10名(登山・山スキー・ボード)

受講費 実技講習 25,000円 学割22,000円

(宿泊料・講習料・資料代・ロープウェイ料金等を含む)

装備 冬山装備一式、雪崩講習に必要な用具(机上講習のとき一覧表配布)

・締め切り:2008年12月31日

## 問合せ先

陶山 正 メールアドレス N0294893@aol.com

Tel 0423-66-2287 (FAX兼用) 携帯Tel 090-1817-1432

## 受講費振込先

りそな銀行 府中中河原支店 普通口座 0455154(スヤマ)

\* 受講申込みと同時に、受講費を払い込んでください、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。尚、キャンセルは1週間前とし、その後は実費を頂きます。

実技参加者は受講申込に際し、以下の事柄についてお知らせください。メール/FAXにて

1 氏名・生年月日・性別

2 住所および電話番号(メール通信が可能な方は、メールアドレスも)

3 所属山岳会があれば会名、なければ所属なし。

4 遭難対策基金(特別基金)加入口数または、その他の山岳保険加入内容(保険は必ず加入のこと)

5 積雪期登山の経験年数又は積雪期に登った山。過去講習会参加の有無

6 緊急時の連絡先

7 希望講習クラス(例:一般基本、山スキー基本 など)

基本クラス、山スキー基本 は原則として基本コース修了者が対象となります。

## 各地方連盟の机上講習会開催のご案内

この机上講習は、雪崩発生のメカニズムや危険判断の方法、危険を考慮した行動選択、それらに必要な雪質についての知識そして初動捜索の方法などを知っていただける内容です。雪崩について初めて学ぶ方を対象にしますが、リピーターも歓迎です、何回でも受講してください。1月の実技講習会（入笠山）参加の方は必修です（平日2回もしくは半日コースを選択してください）。実技講習に参加しない方も、この機会に雪崩の入門講座として、お気軽にご参加ください。また、各机上講習会は、定員になり次第受付を終了します。予めご了承下さい。

### 机上講習開催日

地区	開催日・時間	会場	コース	講師
東京	12月10日(水) 19:00～	全国連盟事務所	平日2時間	川嶋 高志
	12月17日(水) 19:00～	全国連盟事務所	平日2時間	川嶋 高志
	12月14日(日) 13:00～	全国連盟事務所	半日4時間	川嶋 高志
神奈川	12月8日(月) 19:00～	横浜駅西口神奈川県民サポート センター405号室	平日2時間	樺島 正道
	12月11日(木) 19:00～	同上 302号室	平日2時間	樺島 正道
千葉	12月14日(日) 14:30～	県連事務所 JR/京成：幕張本郷駅より5分	半日4時間	石川 昌

講師は、全国雪崩講習会講師養成クラス及び基本クラスを担当しています。

講習料 各地区共 ¥2,000円(テキスト・講習代)  
ビーコン講習を行う場合 ¥500円ビーコン使用代 (ビーコン持ち込みは無料)

※現在検討中

### 申し込み・問い合わせ先

地区	氏名	携帯電話	担当：メールアドレス/各県連盟ホームページ
東京	陶山 正	090-1817-1432	N0294893@aol.com/http://twaf.jp/
神奈川	樺嶋 正道	090-4731-9776	kaba@rondo.plala.ne.jp/http://www.k-rouzan.net/
千葉	石川 昌	090-1468-9154	rosan-chiba@mua.biglobe.ne.jp/http://www.cwaf.jp/

## 「共済の今日と未来を考える神奈川懇話会」結成1周年記念学習会のご案内

### 記念講演 金融保険行政の行方と私たちの暮らし

青山学院大学経済学部 本間 照光教授

- ◆日時 11月26日(水)午後6時30分～8時30分
- ◆会場 神奈川県商工団体連合会・会議室 横浜市神奈川区ニツ谷町1-11  
(JR東神奈川駅・京急仲木戸駅から徒歩約4分 TEL 045-314-5551)
- ◆参加費無料
- ◆主催 共済の今日と未来を考える神奈川懇話会  
構成団体:神奈川県商工団体連合会 神奈川県保険医協会 神奈川県勤労者山岳連盟  
神奈川県民主医療機関連連会 神奈川県建設労働組合連合会 神奈川県労働組合総連合

### FAX申し込み

出席します 約( )名

・団体名か地区名( )

TEL ( ) お名前( )

お問い合わせ、お申し込み 神奈川県商工団体連合会

FAX 045-314-5551 TEL 045-312-5241

## ハイキング委員会報告

8/20 葛葉沢山行

沢とはどんなところ、楽しさや、危険性を知り安全に登る。

長雨と当日雨天のため8/31に順延。

8/31は長雨のため中止。

9/18 机上 山での生活技術、テント泊の装備。

テント泊の基本、準備、注意事項の説明を行い質問に答える。次に八ヶ岳山行の計画に入り、役割分担、装備計画、食料計画をみんなで話し合っ決めていく、それぞれの担当者はどんなことを行なうのか説明を行い質問に答えて終了する。

(加藤) 受講者9名 講師3名

9/29~30 八ヶ岳山行「赤岳」

役割分担を行い各自が準備、手配をする。テント場でのテントの張り方や生活技術を学ぶ。今年は好天に恵まれ計画どりの行動ができました。テント場は混んでいましたが、小屋の横に張って、とても便利でした。夜は大変寒かったようで、よく眠れない人もいたようです。次の日は暗いなかで食事の準備、暖かいラーメンがおいしい。6時10分、赤岳をめざして出発、稜線までは階段の登りが多い、稜線に出ると風も強く寒い、山頂では写真を撮り360度の展望を堪能する。下山時の岩場も無事に通過をしてテント場へ帰着、今までの総合学習としての八ヶ岳山行、受講生の皆さんは貴重な体験であったと思います。

(加藤、小林、清藤) 講師3名 受講者9名

10/9 机上 ミーティング

11月の山行計画終了山行を自分たちで計画し実行する。目的は何か、どこの山に行くのか、どのコースを登るのか、役割分担、安全対策などを話し合っ決めて、計画書を作る。

(加藤、清藤) 講師4名 受講者8名

10/14 世附・権現山 地図読み山行

コンパスで進路を確認する。地図で現在地を確認する。周りの地形を読む、ポイント、尾根筋、谷筋、鉄塔、高度、湖など。

細川橋でバスを降り、今日の予定や注意事項の説明と準備運動を行い神社まで歩く。講師は先頭の後ろと、最後尾に付きコースを外さない様にする。権現山まではコースがはっきりしていて問題はないが、それからの降りは解りにくい、一つ一つ確認しながら進んでいく。予定より早く下山し、丹沢湖でそばを食べて反省会を行い帰路に着く。

(加藤、小林) 受講者8名 講師2名

八ヶ岳/赤岳 テント泊山行に参加して

藤沢山の会 前田美智子

今回の山行は、受講者9名で役割を決めて行ないました。私はSLとは何をするかも分からないまま引き受けてしまいました。とても有意義な山行でした。SLは先頭を歩くのよと言われ、超方向音痴を自認している私は前夜にコースの確認、時間の配分、分岐の確認など何度も行い眠れぬ夜を過ごしました。(実際は寝ましたが・・・)

9月27日お天気もよく幸先の良いスタートを切りました。茅野駅に着くと、会計係りが手配していたタクシーがすでに待っていて、それぞれ分乗していざ出発。美濃戸口よりいよいよ歩行開始です。講師の方から休憩は30分に一回、自分の息が上らない程度のペースで歩くのが良いとアドバイスを頂き、地図とコンパス、登山道の印を確認しながらゆっくりペースで歩きました。テントを張る行者小屋に無事到着し、教わりながらテントを張りました。食料係りが中心となり夕食の準備、今日は豚汁です。ご飯がすごく美味しく炊けてました。もちろん豚汁も美味しかったです。手早く片付けて、この日は就寝。

9月28日、朝食に具沢山のラーメンを頂きましたが、寒さに震えながら調理したので温かく、格別に美味しかったです。

テントはそのまま、サブザックのみでいよいよ赤岳へ。

赤岳への道程はごろごろとした岩場で、階段や梯子、鎖場が続いていました。休みのせいか混んでいて、すれ違う時に狭い場所では待っていた方が良いのか、お先にどうぞと譲った方が良いのか迷ってしまいました。

下山者による落石の恐れがある為、岩場では特に登り優先が良いと感じました。実際に慣れていない感じの下山者による落石が、受講者の右腕に直撃しました。先頭を歩く人は安全かどうかの判断もしながら行動しなければならないことを学びました。

2日間先頭を歩きましたが、CLが後ろから絶えず「良い感じだからそのままのペースで歩いて」と声を掛けてくださったのでその声に励まされ、歩く事ができました。また、ペースを守ること、コースを間違えないようにする事で精一杯で、メンバーへの気遣いはすべてCLが担当してくださり、大変心強かったです。「ありがとうございます」。

私的にはテント泊は3回目ですが楽しいですね。荷物は嵩張りますが、また行きたいです。ヒヤリハットもありましたが、無事下山できて安心しました。講師の皆様、お世話になりました。受講生の皆様お疲れ様でした。

## 救助隊訓練の報告

救助隊：海輪利昭

10月18 - 19日に北丹沢・神の川流域で、救助隊総合訓練を実施しました。

企画・準備はやま++の中田、雪童山の会の岡崎両副隊長が中心となってすすめ、目的はいつでも実際に事故が起こりえる丹沢で、沢登りから下山しない単独者の搜索と搬出をおこない、現地本部と各搜索隊、無線中継班、搬出班の連携を高めることです。

17日夜に所属会から理事長へ事故報告と救助要請が入り、救助隊緊急連絡をおこなうことから始まりました。

18日は県連事務所に第一次召集メンバーが中心となって集合し、遭難地域と計画書に基づくルートの確認、必要な装備の確認と車への積み込みをおこない現地へ向かいました。

直接、現地へ直行したメンバーと集合し、山の概要を確認してミーティングをおこない、搜索班、搬出班、無線中継班、本部要員を決定しました。

遭難者の計画では、矢駄沢を遡行し矢駄尾根を下山するもので、搜索は広範囲となり沢では枝沢を含めて交差する林道の下部と上部に夫々2班(合計4班)、下山ルートである矢駄尾根へ1班、何らかの事情で犬越路へ向かった場合を考えて犬越路からの周回ルートに1班の合計6班による搜索をおこなうことを決定しました。

19日は5時40分に最終ミーティングをおこない、6時には各搜索班が発しました。

本部では各班からの情報を元に各班の現在地点を把握し、遭難者に関する情報と搜索指示を伝え、徐々に搜索範囲を絞っていきました。

最終的に矢駄尾根の登山道から支尾根へ入り崖下へ転落した遭難者を発見し、救急処置後に搬出班の到着を待ってストレッチャーへ梱包し、登山道への引き上げと下部への引き下ろしをおこない終了しました。

各搜索班、無線中継班、搬出班、本部と、それぞれ反省点が見出されました。訓練の目的は反省点を見つけ、今後の活動に生かすことと思います。また、技術的な訓練だけでは一連の搜索・搬出活動がおこなえないことも理解できたことと思います。そのような点から、訓練として大きな成功だったと思います。

最後に、訓練に参加されたみなさん、ご苦労様でした。今後も年に一度しかできないと思いますが、継続して総合訓練をおこないましょう。

以上

## 関東ブロック自然保護交流集会に参加して

県連自然保護委員長 高橋勇三

「山と地球規模の環境保全を考える」をテーマとして、東京都連主催による関東ブロック自然保護交流集会が2008年10月18日(土)19日(日)に労山全国事務所で開催されました。

参加者は約50名で、神奈川県連は、高橋勇三(藤沢山の会)、金森雅子(みずなら山の会)の2名が参加しました。

第一日目、18日(土)は13時開催、三尾彰都連理事長の挨拶から始まり、大阪豊中労山 池田茂先生の記念講演が行われました。

「大気汚染と自然保護」をテーマとして大峰山脈大台ヶ原などの森林の立ち枯れの原因を探る活動として「窒素酸化物汚染とNO2測定」の調査報告をされました。なを、調査はこれからも継続して行うとのことです。

講演後は、各県連の自然保護活動の報告がなされました。東京は、プロジェクトを使い圏央道計画の「高尾山にトンネルを掘らせない運動」、群馬は「谷川岳クリンフェスティバル」、栃木は「足尾銅山跡に緑を育てる植樹」、埼玉、千葉、はクリーンハイク、神奈川は丹沢大山クリンハイク等の取り組みを報告しました。

17時集会終了。場所を外の店に移動し、交流会が行われました。

池田先生や全国連盟、各県連皆さんとの情報交換で盛り上がりました。

第二日目、19日(日)は、「高尾山天狗裁判工事現場視察とカプセル操作ハイク」で、私は都合で参加しませんでした。計画では、京王線高尾山口駅に集合し、高尾山稲荷山コース中腹にてNO2測定操作と圏央道工事トンネルの視察。

トンネル視察後、高尾山頂上に登り昼飯後解散。1984年8月国から圏央道計画が発表され、11月に裏高尾圏央道反対同盟連が結成されられて、東京都下ではじめての「自然の権利」訴訟をし都労山と6つの自然保護団体がこの訴訟を支援しています。

この集会で感じたものは、多くの労山の皆さんがいろいろな形で懸命に自然保護活動に取り組んでいる姿でした。

## 箱根金時山クリーンハイク

小田原ナーゲル山の会

【メンバー】26名（うち会員17名、一般9名）

【期間】2008/10/19 -- 2008/10/19

【コース/タイム】

大雄山線 大雄山駅 8:00 地藏堂 9:00

金時山 11:50~13:00 地藏堂 14:30

【報告/雑記】

頂上で参加者26名、収集したごみを前に記念撮影です。

終了後14名でTさん宅で反省会。先日100名山を達成したNさんを祝福しました。

参加者の感想

「天气に恵まれ気持ち良い汗をかくことができました」

「頂上のトン汁サービスに感激しました。準備ありがとうございました」

「行動中に配られたみかんおいしかった。来年も参加します」

「金時山はごみが少なくきれいだった。次回はもっと汚れている山域に出かけましょう。」

「頂上の清掃時間は30分足らずで終了。もっと草陰に分け入ってごみを探すくらい余裕がほしかった」

「足柄峠からの先発組みは頂上で何もすることなく1時間待ちぼうけ。トン汁準備等がとれる体制をとってほしかった」





### 藤沢山の会クリーンハイク

実施日 10月26日(日)曇り  
 参加者 36名  
 不燃ゴミ12.4kg、可燃ゴミ10.6kg  
 合計23kgを収集しました。  
 伊勢原市役所提出用の写真を添付いたします。

ゴミを拾う



ゴミを拾う

ゴミを分別



約23kgを収集

集めたゴミと記念撮影



ゴミを計量



## 川崎ハイキングクラブ 「ク リ ー ン ハ イ ク」

11月2日の例会山行は参加者20名で、2年前と同じ高取山～仏果山のコースを行ないました。

- ◆ゴミ袋を持って・・・参加者の皆さんお疲れ様でした。  
チョット間違えるとケガに結びつきそうなゴミ（割れたガラスビン）等は袋を二重にしたり、背負子に括りつけたりして無事、半原の神社におろしました。  
気持ちの良い汗を、かきましたよね!?
- ◆ゴミの多い場所・・・休憩ポイント・登山道から外れた斜面、以前に比べて落し紙は減ってましたが、食べ物の入っていた袋が、目につきました。
- ◆山作業のゴミ・・・そのまま放置されていたものは下ろす事は出来ませんでしたが、写真に収め後日、県連に報告ということになりました。
- ◆ゴミの置き場所・・・事前に町直営の収集施設「美化プラント」より了承済みの札をつければOKの返事をもらっていましたが、本来は地元自治会の了解を得てからということでした。
- ◆ゴミの計量・・・
 

H2O	11.2	可燃	12.5	缶	6.9	ビン	11.0	ペット	0.4	計=	30.8kg
-----	------	----	------	---	-----	----	------	-----	-----	----	--------

(川崎ハイキングクラブ自然保護委員 岩佐貴美子.記)



## 事務局長会議報告 10月14日

出席会 川崎労山、川崎ハイキングクラブ、川崎柴笛クラブ、アルパインクラブ横浜、横浜ハイキングクラブ、横浜こぶしの会、藤沢山の会、小田原ナーゲル山の会、相模アルパインクラブ、久良岐ハイキングクラブ、こまくさハイキングクラブ、カモの会、雪童山の会、やま++、山ブキの会 以上15会

## 県連からの報告：

- ・全国自然保護集会第2回実行委員会報告と集会参加のお願い。
- ・「登山の基礎講習会」の案内

## 活動報告から

- ・川崎労山 集中山行を実施するも、会員集結少ない。
- ・川崎ハイキングクラブ：11月9日公開ハイクを筑波山で実施予定。
- ・藤沢山の会：地元の公民館祭りに参加予定。11月8、9日
- ・相模アルパインクラブ：新人のフォローを各会ではどうしているか？（次回テーマ）
- ・こまくさハイキングクラブ：入笠山バスハイク実施。
- ・カモの会：10月25日カモ祭り開催。
- ・雪童山の会：9月9日 アンナプルナ北峰登頂。
- ・やま++：吾妻連峰の避難小屋（名月荘）で約50名宿泊していたが、煙草の煙がすごかった。

## 事故の報告

- ・相模ACで遭難救助発生。谷川岳一の倉2ルンゼ 無事救出。  
ヒヤリハット ハヶ岳編み笠山中腹はアブが大発生。

2009年労山カレンダー販売します。 一部1000円

各会におきましては購入部数をまとめておいてください。

## 登山時報11月号 目次

連載 わたし的一名山 北穂高岳 平野恭一	04
4人で250歳クライミング旅 渋谷正利	08
夏山集中 思い出の木曾駒ヶ岳 秋元喜弘	18
全国ハイキングリーダー学校 in 岡山	
ハイキング委員会 13	
2009年4月以降の「基金」をどうする？	
PT2 発足 石川友好	24
<普段着の山>奥多摩・入山尾根 鈴木澄雄	03
野鳥との出会い アトリ 小枝琢三 福井壽彦	10
シグナル 二つの山岳出版に思うこと 斉藤義孝	12
連載 碧い南の島だより 雨宮 節	21
不思議を発見する山歩き 霧島山(3) 小泉武栄	22
現代岩場事情 丹沢・広沢寺の岩場 安村淳	22
山で見かけるミョーな人たち 菊地敏之	28
全国連盟の活動 29 / JWAFクリック	30
専門委員会活動報告 32 / 編集後記	34
インタビュー ひと 小林幸一郎さん	35
地元会員特選ミニガイド	
埼玉・南天山 / 関根謙一	
鹿児島・宮之浦岳 / 重信育恵	36

ブックエンド 『ドキュメント滑落遭難』 井芹昌二 38

あらかると 氷河地形と水流地形 原 真 39

会報えつらん室 全国一巡版 40

オススメ山道具 もってこたオル 笹原芳樹 42



# 神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

## 川崎勤労者山岳会

報告：小池 秀子 計39名(男 女 )平均 歳

10/3-4 一ノ倉 南稜, 涸沢	10/10-12 尾瀬	10/18-19 小川山, 北岳
10/7-10 北穂高	10/10-13 尾瀬 センノ沢	10/25-26 甲府幕岩
	10/18 滝子山	10/27-28 三ツ峠

## 川崎ハイキングクラブ

報告：二瓶 誠 計106名(男51 女55) 平均 歳

8/13 御岳山/奥多摩(1)	9/6 湘南鷹取山/鎌倉(13) 岩トレ	9/13-15 唐松岳/北アルプス(1)	10/19 西沢溪谷 /丹沢
8/19 金時山/箱根(3)	9/7 花咲山/中央沿線(8)	9/13-15 湯ノ丸山/軽井沢(2)	10/19 鳩ノ巣溪谷/奥多摩
8/22-24 乗鞍岳上高地/北アルプス(8)	9/7 大沢山/中央沿線(7)	10/3-5 白峰三山/南アルプス	10/19 棒ノ折山/奥多摩
8/23-24 那須岳/那須(4)	9/9 大寺山/中央沿線(1)	10/5 ヨモギ平/丹沢例会山行	10/29 蔵山
8/23-26 針ノ木/後立山(3)	9/12-14 仲木沢烏帽子/妙義(9)	10/12-13 日向山・夜叉神峠/南ア	11/3 尼ヶ禿山/群馬
8/28-31 飯豊産/飯豊(6)	9/12-14 立山/北アルプス(4)	10/17-19 黒姫山/長野県	11/8 善波峠・高取山/丹沢
8/28-9/2 荒川三山/南アルプス(5)	9/13-15 四阿山草津白根/浅間(13)		
9/3 大岳山/奥多摩(1)			

## アルパインクラブ横浜

報告 = 岸 計38名(男23 : 女15) 平均 歳

10/3-5 奥穂高(2)	10/12-13 姫路奥の雪彦山(3)	ケ岳(3)	10/25-26 谷川・マチガ沢東南稜、田尻尾根(2)
10/3-5 鳳凰三山(2)	10/12 女峰山(1)	10/12-13 鳳凰三山(2)	10/25-26 天王岩/河又(2)
10/5 瑞牆山(2)	10/12 塔が岳(1)	10/13 愛鷹山(3)	10/26 黒岩聖人岩(2)
10/5 斑尾高原(1)	10/12 蓼科山(2)	10/17 デトノオオナデ沢(2)	10/26 湯河原幕岩(2)
10/5-8 八幡平・秋田駒ヶ岳(1)	10/12-13 谷川岳～武能岳～蓬峠(1)	10/18 伊豆城山(2)	10/26 丹沢山(1)
10/7 御岳ボルダー(2)	10/12-13 小川山(3)	10/19 神ノ川周辺(県連救助隊訓練)(2)	10/28 湯河原幕岩(3)
10/11 岡山和気の岩場(3)	10/12-13 鋸岳・甲斐駒	10/18-19 天王岩/河又(2)	10/30 滝子山(2)
10/11-12 有笠山(2)			

## 横浜ハイキングクラブ

報告 = 真子和美 計62名(男23 : 女39) 平均60.4歳

9/21 八間山～野反峠(20)	11/1 黒斑山	11/9 丹沢三峰山	11/26 顔振峠～黒山三滝
10/11-12 安達太良山(7)	11/7-8 雲取山～飛龍山	11/16 日向山	11/29 南高尾
10/19 檜洞丸(5)	11/8-9 旧信越線跡ウォーキング	11/22 明神ヶ岳	
10/25 榛名、掃部ヶ岳		11/23 天城山縦走	

## 横浜こぶしの会

報告=田辺美由紀 計29名(男20人 女9人) 平均51歳

10/4 高尾山(10)	10/11～13 朝日連邦(5)	10/25～26 三ツ峠(岩トレ)(8)	11/9 鋸山(未定)
10/9～13 北ア・北尾根・涸沢(1)	10/12～13 火打・妙高(4)	10/25～27 三ツ峠(1)	
	10/12～13 赤岳(2)		

## 藤沢山の会

報告=清水 守 計82名(男37 : 女45) 平均61歳

10/3-5 鳳凰三山(7)	手(6)	他20山行	11/29 表尾根
10/5 十二ヶ岳(10)	10/11 鶏冠山(7)	11/2 檜岳	11/28-31 八ヶ岳、
10/11 大岳山(7)	10/18-19 三ツ峠(12)	11/15-16 自然保護集会	12/20-23 会・忘年山行・箱根
10/11-12 鬼石沢(10)	10/26 会・クリーンハイ	11/22-23 源次郎沢	
10/11-12 女性集会・岩	ク・大山(36)	11/23-24 蓼科山	

## 久良岐ハイキングクラブ

報告：三上茂 計6名(男4 女2) 平均58歳

10/4 室内例会(3)	11/1-3 八ヶ岳	11/6 室内例会
10/11-12 仙丈岳(3)	11/8 室内例会	

**小田原ナーゲル山の会** 報告 = 青木義隆 計32名(男19:女13) 平均45歳

9/27 秩父 二子山南壁(3)	10/11-12 小川山(1)	10/18-19 赤岳(1+1)	11/1-2 東沢釜の沢・東 のナメ沢(3)
9/27-28 雲取山(1)	10/11-12 笹ヶ岳(1)	10/19 箱根金時山クリ ンハイク26名(うち 会員17名、一般9名)	11/2 雨山峠超え・ユ ーシン・鍋割山(1)
9/29 杓子山(1+1)	10/12 乾徳山(2)	10/26 鍋割山(1+1)	11/2 黒姫山(1+7)
10/3-4 男体山(1+1)	10/12-14 北岳バツレ ス(2)	10/26 裏妙義山(1+1)	
10/5 三つ峠(3)	10/13-14 西吾妻山、磐 梯山(1+1)	10/31 天狗山 男山(1+1)	
10/5 妙高山(1)			
10/8-9 乗鞍岳(1+1)			

**相模アルパインクラブ** 報告:水村和也 計42名(男30:女12) 平均 歳

9/26-27 大台ヶ原(1)	10/05 三ツ峠(3)	10/11-13 戸隠山・高妻 山・飯綱山(1)	10/18-19 太刀岡山・甲 府幕岩(2)
9/28 広沢寺(4)	10/04-05 小川山(1)	10/10 13 錫杖岳(2)	10/18-19 大山/読図・搬 出・ピバ・クトレ(7)
9/27-28 小川山(3)	10/05 幕岩(2)	10/12-13 女峰山・大真 名子・小真名子(3)	10/26 太刀岡山(5)
10/03-04 小金沢連嶺・ 大菩薩峠・滝子山(1)	10/05 女郎小屋沢(2)	10/11-13 小川山(1)	11/01-03 霞沢岳(3)
10/04 鶴が鳥屋山(1)	10/09-10 一ノ倉沢・第 二ルンゼ(2)	10/12-13 小川山(1)	
10/05 甲府幕岩(2)	10/12 武甲山(1)	10/18-19 県連救助隊総 合訓練(6)	
10/03-05 三ツ峠(県連 リーダー学校)(3)	10/11-12 鳳来の岩場(2)		
	10/10-13 錫杖岳(1)		

**カモの会** 報告:志村杏子 計62名(男39:女23) 平均35歳

10/4-5 火打山 妙高山(2)	ス四尾根(3)	10/19 越沢バツレス(4)	10/26 パートナーレスキュー 訓練 岳嶺岩(6)
10/11 吾妻小富士(4)	10/12-13 灰ノ又沢右俣 (4)	10/25 越沢バツレス(3)	
10/12 那須岳~茶臼岳(2)	10/13 南蔵王(5)	10/25 御岳ボルダー(5)	
10/12 蔵王山(5)	10/14-15 下ノ廊下(2)	10/25 川苔山(2)	
10/12-13 北岳バツレ		10/26 岳嶺岩(3)	

**雪重山の会** 報告:小緑岳志 計19名(男14 女5) 平均37歳

10/31 湯河原・幕岩(1)	10/26 乾徳山・旗立岩中 央岩稜(4)	10/12-13 南アルプス・ 黄蓮谷右俣(3)	湯・中山峠・ニュー・稲 子岳・稲子湯(1)
10/28-29 丹沢・主稜 (大倉尾根~塔ノ岳~檜 洞丸~西丹沢)(1)	10/18-19 前穂北尾根 (パノラマコース~8峰 ~北尾根~前穂~重太 郎新道)(3)	10/11-13 剣岳(別山尾根 -三ノ窓-チンネ左稜線 -仙人池-阿曾原)(2)	9/9-10/12 ヒマラヤ・チュ ルーウエスト(北西稜) (2)
10/27 鳥取大山・槍尾根 (三の沢~槍ヶ峰~剣ヶ 峰往復)(1)	10/18-19 丹沢・矢駄沢 周辺(救助隊総合訓練) (1)	10/11-13 後立山(大雪渓 -白馬岳-唐松岳-八方 尾根)(1)	10/5 二子山・中央稜(2)
10/26 奥秩父・笛吹川東 のナメ沢(2)		10/11-12 北八ヶ岳(稲子 )	10/5 丹沢 孫右工門谷(2)
			10/5 丹沢・本間沢(1)
			10/3 三ツ峠(3)

**こまくさハイキングクラブ** 報告:山田日出子 計15名(男4:女11) 平均65歳

9/14 等々力溪谷(14)、	(14)、	10/26 箱根駒ヶ岳、	11/23 鎌倉紅葉めぐり
9/28 入笠山バスハイク	10/12 いたち川遊行(12)、	11/9 逗子、	

**山岳素行重人メーグリ家** 報告:後藤真一 計6名(男3:女3) 平均 歳

11/29~30 大倉山岳SC(労山コン ペ 4名)	10/22 名栗河又(FC1+2名)	10/10 唐沢川~石尊沢~大山北尾 根(沢登 1名)
11/17 丹沢山(全国自然保護集會 ツアー 1+3名)	10/18~19 矢駄沢~矢駄尾根(県 連救助隊捜索救助トレ 3+18名)	10/07 御岳ボルダー(ホルダリッ グ 1+1名)
11/05 表丹沢/杉ノ沢~秦野峠 (沢登2+1名)	10/17 越後三山/デトノオオナデ 沢(沢登 1+1名)	10/06 湯河原幕岩 雨天ストマジ (FC 1+1名)
11/03 二子山中央稜(AC 1+1名)	10/12~13 奥只見/中ノ岐川水系 灰ノ又沢右俣~荒沢岳(沢登 1+3名)	10/05 湯河原幕岩(FC1+1名)
11/03 裏丹沢/袖平山北尾根(1名)	10/11~12 谷川/西ゼン・東ゼン (沢登 2+1名)	10/04~05 三ツ峠(県連L学校実 技AC 2+18名)
11/01~03 空木岳~木曾駒(2名)	10/11~13 瑞牆末端壁(FC 1+1名)	10/04 広沢寺(FC 2名)
10/29 湯河原幕岩(FC2+2名)	10/11~11/10 鳳来・備中・大堂 (FC行脚 1+1名)	10/03 有笠山(FC 2名)
10/28 湯河原幕岩(FC1+1名)		
10/26 妙義山(2+2名)		
10/25 甲府幕岩(FC1+2名)		

**やま+**

報告:栗田 彰 計16名(男11:女5)平均46歳

10/4 東北・安達太良山(4)	10/11~13 東北・吾妻連峰(2)	山~雁ヶ腹摺山(8)	11/9 八ヶ岳・蓼科山
10/5 中央線・お坊山~雁ヶ腹摺山(3)	10/18~19 谷川・朝日岳~清水峠(4)	11/1~3 八ヶ岳縦走	11/12 勉強会・百合丘
10/8 勉強会・ロープワーク(10)	10/22 例会・百合丘(12)	11/2~3 秩父・両神山~双子山	11/15~16 新人教育・山梨県武川村
	10/25 読図山行尾・坊	11/8~9 上越・苗場山~小松原湿原	11/22~24 丹沢・椿丸
			11/26 例会

**県連のスケジュール**

11月		12月		09年1月	
1 土		1 月	常任理事会	1 木	
2 日	川崎HCクリーンハイク	2 火		2 金	
3 月		3 水		3 土	
4 火	常任理事会	4 木		4 日	
5 水		5 金		5 月	常任理事会
6 木		6 土	HCリーダ学校実技講習	6 火	遭対部会
7 金		7 日		7 水	
8 土		8 月	遭対部会	8 木	
9 日	HCリーダ学校実技講習	9 火	事務局長会議 連盟news発行	9 金	
10 月	全国自然保護集会第2回実行委員会/遭対部会	10 水		10 土	
11 火	事務局長会議 連盟news発行	11 木		11 日	
12 水		12 金		12 月	
13 木		13 土		13 火	事務局長会議 連盟news発行
14 金		14 日	登山リーダ養成学校机上講習 IBSピーコン学習会	14 水	
15 土	全国登山者自然保護集会 遭対部講習	15 月		15 木	
16 日	全国登山者自然保護集会 遭対部講習 登山リーダ養成学校机上講習	16 火	救助隊定MT	16 金	
17 月		17 水		17 土	救助隊雪上チームスチュー
18 火	救助隊定例会	18 木	事務局部会	18 日	救助隊雪上チームスチュー 登山リーダ養成学校机上講習
19 水		19 金		19 月	
20 木	事務局部会	20 土	雪崩ピーコン実技学習	20 火	救助隊定例会
21 金	HCリーダ学校終了式	21 日		21 水	
22 土		22 月	自然保護委員会	22 木	事務局部会
23 日		23 火		23 金	
24 月		24 水		24 土	登山リーダ養成学校実技講習
25 火	自然保護委員会	25 木		25 日	
26 水		26 金		26 月	自然保護委員会
27 木		27 土		27 火	
28 金		28 日		28 水	
29 土	第2回クライミングコンペ	29 月		29 木	
30 日	第2回クライミングコンペ	30 火		30 金	
		31 水		31 土	